

西尾更生保護

第82号

発行者
西尾保護区保護司会
事務局
西尾市寄住町下田22
西尾市役所福祉課内
☎(0563)56-2111(代)

(題字 鈴木 睦)



安休寺（一色氏発祥の地）

安休寺は、一色町のほぼ中心に位置し、一色中央通りを西に50m程入ったところにある。創建は、1357（正平12）年、一色有義が父である吉良満義の菩提を弔うために建てたとされ、境内裏手には親子の墓がある。また、足利泰氏の子公深が三河国吉良荘一色を所領とし一色氏をおこしたことから、寺北隣には、「一色氏発祥之地」の石碑が建っている。

「安心して暮らせる

安全な西尾市」を目指して



西尾警察署長

中 島 信 彦

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さまには、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平素より、防犯活動や交通安全活動に対し、深いご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、市民の皆さまをはじめ関係機関、各種団体と様々な情報を共有し、各種対策を推進してまいりましたが、依然として、特殊詐欺や侵入盗などの犯罪や高齢者や自転車が関係する交通事故が発生している情勢でありました。

西尾警察署では、本年も、犯罪や交通事故のない「安心して暮らせる安全な西尾市」を目指し、市民の皆さまの平穏な暮らしを守るべく、警察署員一同が一丸となって、治安の維持を強力に推進していく所存であります。

そうした警察活動を推進するためには、警察だけでは目の届かないところも多くあると思います。また昨今の様々に変化する社会情勢の中では、警察のみの対策では目的を達成することは到底厳しいものと考えております。

引き続き、皆さまのご協力をいただきながら「安心して暮らせる安全な西尾市」の実現に向けて取り組んでまいりますので、今後とも警察活動へのより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆さまにとって健康で穏やかに、そして笑顔あふれる一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

新年にあたって



西尾保護区保護司会
会長 伊藤 則男

謹賀新年 本年もよろしくお願
いいたします。

昨年四月より西尾保護区の会長
として、西三河地区・愛知県内・
中部地区の各保護司会代表者の
方々とお会いする機会があります
そこで感じますことは、保護司お
よび保護司会の活動に対して、男
女問わず大変熱心な方々が多いと
いうことです。また、それぞれの
地域の特色ある情報を見事に発信
されています。小生にとっても大

本年度の西尾市更生保護女性会の取組
「非行を生まない
地域づくりに向けて」



西尾市更生保護
女性会
会長 沖田 和子

「社会を明るくする運動」は、全
ての国民が犯罪や非行の防止と罪
を犯した人達に更生について理解
を深め、それぞれの立場から力を
合わせ犯罪や非行のない地域社会
を築こうとする運動です。更生保
護女性会も地域に根ざした女性の
ボランティア団体として取組の一

新年のご挨拶



西尾保護区
協力雇用主会
会長 深谷 宣一

新春を迎え西尾保護区関係者の
皆様に謹んで新年のご挨拶を申し
上げます。

旧年中は社会復帰支援の現場で
多大なるご尽力を賜り心より感謝
申し上げます。今の時代、若者達
は「生きにくい」と感じ不安の中
で自分の居場所を見失いがちです
その延長線上で罪を犯し人生を誤
る者も少なくありません。

私たちは彼らを責める前に社会
の中で何が欠けているかを見つめ
直す責任があります。協力雇用主
会の役割は働く機会を通して再び
信頼を得、希望を取り戻すための
「つなぎ役」であることです。

本年も会員一人ひとりが温かな
理解と覚悟をもって誰もがやり直
せる社会の実現に力を尽くしてま
いりましょう。

結びに、本年が会員の皆様にと
って、そして社会復帰を志すすべ
ての人にとって希望と再出発の年
となることを祈念申し上げます。
ご挨拶いたします。



研修部会

岡崎医療刑務所見学

令和七年七月十七日(木)に保護
司二〇名で岡崎医療刑務所を訪問
しました。

この施設は昭和三八年に竣工し、
医療刑務所は岡崎を含め全国に四
か所あります。初めに小川総務部
長より概要説明がありました。本
刑務所は専門的な医療、看護が必
要な受刑者を対象とし、男子のみ
を収容しています。

平成十六年七月には二五二名と
最も多く、令和七年には四一名に
なりました。高齢の受刑者の中
には何度も入所を繰り返す、職員に
支えられて、更生を図っている者
もいます。

多くの職員のうち医療スタッフ
として一〇七名が勤務している
ということにも驚かされました。
小川総務部長の案内で施設内の
見学しました。整備された環境の
中で受刑者は、日々決められた日課
で規則正しく生活を送っています。
研修を終えて、

受刑者に対して、
更生を信じる力
を持って、安全
で豊かな社会で
生活できる力を
身につけて欲し
いと願いつつ、
医療刑務所を後
にしました。



(研修部会 鈴木 睦)

社明部会

社会を明るくする運動
「作文コンテスト」

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

本作文コンテストは、社会を明るくする運動、愛知県推進委員会の主催による県内の小中学生を対象にした作文作品の募集です。市内の小学校十六校、中学校五校から七五九作品の応募がありました。各校から優秀作品一点を提出していただき、その中から小学校一点中学校一点の優秀賞を選出し、県推進委員会に推薦しました。参加者全員に参加賞として四色ボールペンを贈呈しました。



○加藤 夢稀(鶴城小六年)
「ゆずり合いで社会を明るくしよう」

「変わるべきは私たち」

また、学校特別賞として、取り組みが積極的であった西尾中学校を推薦しました。

(社明部会 榎原 孝宏)

総務部会

更生保護活動 パネル展示

令和六年度から七月の「再犯防止啓発月間」に合わせて保護司活動の理解を深めるパネル展示を開始しました。二回目となる今年度から保護司会だけではなく、更生保護女性会、BBS会、協力雇用主会にも参加を呼び掛け、市民に再犯防止や更生保護活動に関心と理解を深めてもらいました。

今年度は、各団体ごとに工夫を凝らしたパネルを作成・展示しました。展示会場は市役所ロビーで、会場の都合により展示期間は再犯防止啓発月間の七月ではなく、八月十八日から九月五日までの土曜・日曜を除く十五日間としました。名古屋保護観察所の協力で「更生ペンギンのホゴちゃん」のマスコットキャラクターも借用・展示しました。



開催期間中二三八名の参加者があり一定の成果がありました。これからも犯罪のない明るい社会を目指して、更に啓発活動を充実・推進していきたいと思えます。

(総務部会 杉浦 恵一)

研修部会

第二期地域別定例研修
「面接の進め方について」



面接は様々な対象者で行います。障害を持つ対象者との面接は、それぞれが持つ難しい問題と向き合わなければなりません。

今回の研修では名古屋保護観察所の加藤暁登氏より、発達障害に焦点をおき、その特徴の説明がありました。

その後「面接のポイント」を題材にバズセッション(少人数グループ協議)を行いました。

協議の中で出された意見は「障害を意識しすぎない」、「生活に則した質問をする」、「次の面接での質問を話しておく」などでした。

バズセッションの発表を聞いて、障害のある対象者との面接の難しさを感じました。

最後に加藤保護観察官より「障害に重きを置かず面接する」とのお話がありました。この言葉は障害の無い対象者にも通じるものがあると思えました。

今回の研修を活かして、面接に臨みます。

(研修部会 高須 寛人)

県外特別研修に参加して

九月二十八日、二十九日に兵庫県神戸方面(西宮神社・北野異人館街・神戸震災メモリアルパーク・神戸税関他)へ出かけました。メモリアルパークの公園は、地盤の隆起や陥没、ずれた護岸が生々しく残されており、震災の被害の甚大さを目の当たりにしました。また復興した港の姿からは、人々の強さ、備えの大切さを改めて感じました。

神戸税関の建物は、赤レンガ調のレトロで重厚な洋風館で、思わず携帯を向けました。

職員から税関の仕事は、「税」お金(関税をとる)、「関」チェックする場所(関所)と説明。広報展示室には、税関の歴史や役割の紹介パネル、密輸品・麻薬や偽ブランド品の展示などもあり、穴場的な観光スポット(入館料無料)でした。

参加者二十二人は、「ウォーターフロントエリア」と呼ばれる神戸港近くで見聞を広げ、親睦も深めました。



(研修部会 岩瀬 和道)

犯罪予防部会

協力雇用主会との情報交換会



十一月二十一日の西尾保護区協力雇用主会研修会では、愛知県警に長く勤務され現保護司でもある國枝久伸氏をお招きし「職場定着支援」をテーマに、就労支援の現場での課題や具体的な支援の工夫について学ぶことが出来ました。働くことは、社会と繋がる第一歩であり、自信を取り戻す力になります。私たち保護司にとっても、対象者が就職した後に職場で孤立せず、長く働き続けられるよう支えることが重要であり、そのためには雇用主や関係機関との連携が欠かせないと感じました。職場定着には、理解ある企業が存在し、日常的な見守りや声かけといった地道な支援が大きな力になります。今回の研修で得た学びを活かし、一人ひとりの再出発を支え、地域の中で安心して働ける環境づくりに、今後も保護司として力を尽くしてまいりたいと思います。(犯罪予防部会 小林 孝幸)

令和七年度 受彰者紹介 敬称略

春の叙勲 藍綬褒章



保護司 有馬 健治

全国保護司連盟理事長表彰



保護司 都築 兼弘

日本更生保護女性連盟 理事長表彰



更生保護女性会 沖田 和子

中部地方更生保護委員会 委員長表彰



保護司 鈴木 睦 (東中)



保護司 外山 正志



保護司 石川 裕司

中部地方保護司連盟会長表彰



保護司 岩瀬 和道



保護司 神谷 知幸



保護司 杉浦 雅人



保護司 杉山 邦雄



(家族功労) 伊藤津夜子 (伊藤則男保護司の妻)



保護司 尼子 真弓



保護司 稲垣 正彦



保護司 榎原 孝宏



保護司 山本 民夫

名古屋保護観察所長感謝状



(家族功労) 神谷のり子 (神谷 昇保護司の妻)



更生保護女性会 桂山美恵子



更生保護女性会 近藤 啓子

愛知県保護司会連合会会長表彰



保護司 高須 寛人



保護司 千葉 貴子



保護司 宮地 弘子

愛知県更生保護女性連盟 会長表彰



更生保護女性会 神谷 一江



更生保護女性会 伊澤恵津子



更生保護女性会 尾崎めぐみ

新任保護司紹介



寺津町 倉地 徹

退任保護司紹介



米津町 米津 薫 (在職26年)



鶴城町 山本 民夫 (在職6年)

編集後記

この82号の原稿依頼に対し、多くの方々の協力を得ることができました。ありがとうございました。今後とも、関係機関と連携し、安全安心な地域づくりを行うための活動を推進してまいります。(総務部会 稲垣 正彦)